

2024年6月9日

令和6年度 関東スポーツ推進委員研究大会in千葉大会

林 但

- 趣旨;関東1都8県スポーツ推進委員が一堂に集まり、当面する生涯スポーツの諸問題に対して研究協議し、スポーツ推進委員の資質向上と相互の情報交換を図り、地域のスポーツの発展に寄与をする。
- 日時;2024年6月7日(金)10:00~16:25 6月8日9:00~12:00
- 場所;千葉県成田市 重兵衛スポーツフィールド中台体育館
- 参加者;スポーツ推進委員+生涯スポーツ関係者他 約1400名 横須賀市は石川、新堀、上野、林
- 内容;ポイント部分のみ記載 **大会テーマ:『世代を超えスポーツで見つけよう! 私たちの未来そして夢』**
 - アトラクション1:「お囃子」成田下座連 「佐原囃子」は日本三大囃子で、ユネスコ世界無形文化財に指定
 - 開会式・表彰式:表彰者84名、内神奈川県対象者23名
 - アトラクション2:「ジャズ演奏」Silver wings 1964年創部のJAL整備士が成田や羽田で活動
 - 事例発表:テーマは『多世代に渡り、みんなで参加して楽しめる地域スポーツ』
 - 市川市:「ライフステージに応じたこれからのスポーツ活動」人口は492千人
 - 我孫子市:「パラスポーツ・ユニバーサルスポーツへの取り組みと効果」人口は131千人
 - *市川市は軽スポーツや遊びなどを子供から高齢者までライフスタイルに合わせて行っている。
 - *我孫子市は毎土曜日パラスポーツの体験会など行っている。パラスポーツの団体もできる。

障がいの有無関係なくスポーツを楽しめる環境、障がい者スポーツに関心を高めるためスキルアップ中
 - (5)基調講演:演題『世界と戦った メダリストが実戦する生涯スポーツ』

講師;末續慎吾氏 200m 日本記録保持者、北京オリンピック4×100m銀メダリスト

 - *ユニークで壇上に体育館の中央部分から登壇、6月1日100mで43歳?10.66の記録映像が流れる。
 - *スポーツは自分のためにやるものの元生涯にわたって挑戦続ける。
 - *質疑応答で200mの日本記録が20年以上破られないのは、練習量が不足とバツサリと回答
 - *2016年星槎大学特任准教授に就任、**自身が走ることに對する世界観を表現した「EAGLERUN」**を立ち上げ、選手を続けながら指導やメディア出演なども行っておられる。
 - *何でもよいから好きなことを続けなさい!!
 - (6)翌8日(土)横須賀市は第一分科会に参加。

テーマ:『ラジオ体操を指導する観点から学ぶ健康づくりの第一歩~実はすごかった!ラジオ体操の効果~』

特別講師;青山敏彦氏(NPO 法人全国ラジオ体操連盟名誉会長)

講師;平井孝子氏(同上指導員) 実技;田村恵美氏(同上) 藤元直美氏(同上)家根本織永氏(同上)

 - ***ラジオ体操の効用について青山講師より講義。**
 - *実技指導は「みんなの体操」⇒「第一体操」⇒「第二体操」と負荷の軽い順からで実演と分習やペアでチェックなどを取り入れて行う。汗びっしょり、でもやった後は爽快。
- 参加して感じた事・得た情報他
 - (1)この研究大会は今回通常より早く始まりゆつたりと進められた、市川や安孫子の発表にあるように、地域の実態に合わせた内容で学ぶところがあると感じた。県祝賀会で受賞者が少なかったのは残念である。
 - (2)ラジオ体操は連盟「2028年が100周年」に合わせて精力的に取り組んでいる、わかりやすい講義と実技指導であった。6月1日にも川崎で指導士フォローアップ研修を受講したばかりである。